

HDRプロジェクター適合スクリーン レイロドルHF102

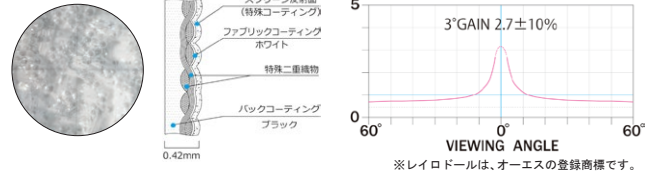
新製品

HDR (ハイ・ダイナミック・レンジ) 対応プロジェクターの登場により、要望が高まった高ゲインスクリーンとして開発されたスクリーン。投写される光を生かすゲインの高さと共に、黒の階調もしっかり表現可能な広階調スクリーンです。また表面素材に特殊加工を施し、高ゲインと視野角を実現させています。

レイロドル HF102

HDR (ハイ・ダイナミック・レンジ) 対応プロジェクターの投写する光を生かす、高コントラストスクリーンです。レイロドルHF102はWF302同様にファブリックの特質を生かし、高ゲインを意識させない自然な映像を生む、全く新しい第4のスクリーン生地です。

■3°ゲイン2.7±10% ■ハーフゲイン角60°以上



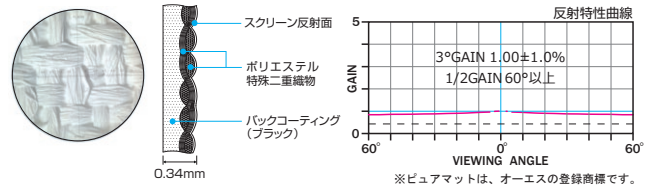
4K対応の高解像度用スクリーン ピュアマットⅢCinema

2000年に独自の特許技術で誕生したピュアマットは数々の改良を重ね、最新のWF302は高解像度プロジェクター用として、4Kの魅力を引き出すフォーカス感をしっかり実現しながら、非常に素直な映像を映し出す、最上級のスクリーン生地です。

ピュアマットⅢCinema WF302

モアレを防ぎ、高精細な映像を忠実に再現する4K対応スクリーン。ピュアマットはランダムに織られたファブリックスクリーンです。ピュアマットⅢCinemaは繊維の太さを従来の約半分にし、生地表面の凹凸を極限まで細かくして、ハイフォーカスを実現。またゲイン1.0という、拡散型としては最高品質のスクリーンです。

■3°ゲイン1.00±1.0% ■ハーフゲイン角60°以上



FHDに対応するファブリックスクリーン ピュアマット204

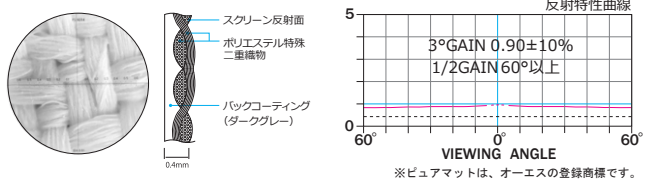
新製品

一般的なスクリーン生地はガラスクロスを塩ビにラミネートし、表面に凹凸加工をしたものですが、ピュアマット204は2種類の織り方の異なる特殊二重織と呼ばれる特殊織物のスクリーンです。

ピュアマット204 WF204

- ・自然で落ち着きのある映像再現：不規則な凹凸を生むランダムな生地表面 (写真参照) により、非常に柔らかで癖の無い映像再現性、2K HDのモアレを防ぎます。
- ・脱塩ビスクリーン：ピュアマット204には塩ビを使用していません。合成繊維 (ポリエステル) を主としたファブリックスクリーンです。
- ・拡散型ホワイトマット：ピュアマット204の光学特性は、鑑賞者の位置やプロジェクターの設置位置にかかわらず同じ画質の映像を見ることができる、拡散型ホワイトマットの特性を持ちます。

■3°ゲイン0.90±10% ■ハーフゲイン角60°以上



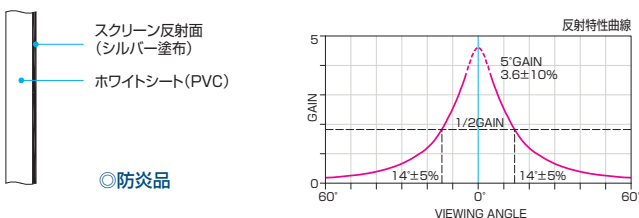
特殊なスクリーン

使う環境や目的、あるいは使用するプロジェクターなどにより、最適なスクリーンは異なります。オーエスでは、その条件を十分検討し最適なスクリーンをご提供します。

シルバー (3D型)

- SD201** 2台のプロジェクターで、それぞれ偏光フィルターを通して右目用・左目用の画像を投写した時、その偏光性の強い光を、拡散させず、偏光状態を維持する、指向性の強い反射型スクリーン。

■5°ゲイン3.6±10% ■ハーフゲイン角14°±5%



ゴルフシミュレーター用スクリーン

- WA101** オーエスの開発したゴルフシミュレーター用スクリーン
- ・低反発でゴルフボールが当たっても、跳ね返りが小さい
 - ・ボールの衝撃音を吸収し、音が小さい
 - ・プロジェクターの映像がくっきりとナチュラルに再現できる
 - ・平面性を維持でき、耐久力に優れている

■5°ゲイン0.5±5% ■ハーフゲイン角60°以上

